平成20年度事務事業評価表									作成日:平成20年7月11日			
評価対	象年度: 平		十成20十万争伤争来计仙农						管理	5-19-1-1		
事務事	事業名 浄水	見模改修哥	事業							部等名	企業局	
予算 科目	会 計		科目コード		予算細目領	Ż	水道事業				課等名	上下水道課
	水道		11-010102002 細々								係 等 名	浄水係
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり									
	施策	19	上水道の整備									
ינגידיו	基本事業名	1	安全・安定した水の供給									
	事業概要 ・ 発施内容	!増設工事 ' !改修工事 '	V=1500 m³			·	を、計画的に					
根拠法令等 水道法、地方公営企業法					事業の種類 ✓ 維持管理事業評価区分□ 事前評価✓							業の他事業
				NIV V	- Ha co							
里点	事業区分	[√] 重	点事業	事業実施		継続 	L	_ 単年		間限定(18 年度	~ 23 年度)
決	1 報酬 7 賃金				円 11 消耗品費 円 15 工事請 円 12 役務費 円 18 備品期							97,440,000 円
算額	8 報償費			円 13 委託料 2,408,700 円 19 負担金							円	
	9 旅費				円 14 使用料及び手数料 円 円						計	99,848,700 円
	1 . 事務事業の現状把握 (Do) (1)事務事業の目的と手段											
	、 対象(誰を、何を)											
立石山浄水場の老朽化した施設												
	事業の具体								・式(アウト		活動の大	きさを表す指標
設計委託、改修工事、施工管理委託							指標		一日平均配			
							(1)	式	年間総配水	量 / 365日		
						¬	指標	名称				
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)							(2)	式	 ・式(アウト	- /- \	き回り達代	府 大 丰 士 15 1 年
<u>息凶(対象を、とのような状態にしたれのか)</u> 安定した浄水能力を保つ					(J))		指標		改修率	·/////////////////////////////////////	思凶の连成	度を表す指標
							(1)	式	実施済事業	費 / 総事論	坐費 x 100	
					指標	名称	八儿儿子子来	, MO 7 7	N 52 11 100			
					(2)	式						

(2)指標・総事業費の推移

市民等への、安全安心な水道水の安定した供給

	_,	אוים								
	区分			<mark>単位</mark> ㎡/日	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	23 <mark>年度 (最終目標)</mark>
		活動指標(1)						15,624	15,800	
指	i	活動指標(2)								
標		成果指標(1)						32.4	50.3	100
	成果指標(2)									
		財	国・県支出金	千円						
	事	源	地方債	千円				87,600	153,400	92,100
投	業	内	その他	千円						
	費	訳	一般財源	千円				12,249	20,434	31,750
入			事業費計(A)	千円		0		99,849	173,834	123,850
	人		職員数	人				0.2	0.2	0.2
量		人	件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	8,373
	費		人件費計 (B)	千円	0	0	0	1,675	1,675	1,675
		総	事業費 (A+B)	千円	0	0	0	101,524	175,509	125525

(3)事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?

安全性と経済性の両面から、より高度なものが求められている

水質についても、規則の改正により検査項目が増え、さらなる安全性が求められている

事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

安心安全な水道水の安定した供給のため、早期の改修を望む

本宮市行政評価システム **2 . 事務事業の評価 (Check)**

	[目的妥当性評価]						
	施策体系との整合性 市が行なう必要性 対象・意図の妥当性 ☑ 有 【理由 】						
	老朽化した施設の改修は、安全な水道 水の安定供給のためには不可欠であり 結びつく 上水道は公共性が高い事業であり、水 道水の供給に支障をきたした場合の市 民への影響は大きいため、市が行う必 要性がある 老朽化した施設の改修は、安全な水道 水の安定供給のためには必要であり、 妥当である						
	[有効性評価]						
評	成果の向上余地 事業の中止・廃止による影響 類似事業との統廃合の可能性 有 【理由 , 改革改善案へ】 ✓有 【理由 】 「有 【理由 , 改革改善案へ						
価	☑無 【理由 】 ○無 【理由 」 ○ ○無 【理由 】 ○						
結果	事業が実施されれば、安定給水が確保 水道水の安定供給が図れなくなるおそ される						
	[効率性評価] [公平性評価]						
	事業費の削減余地 人件費の削減余地 受益者負担の適正化余地 「有【理由」」 で基改善案へ」 「有【理由」」 で無【理由】						
	改修の工法等、すでに見直し済みである 工程会議等の打合せが常時あるが、施 工管理を委託しているため、現状で適 正である						
3 .							
(1)	次評価者としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点)						
	目的妥当性 ☑ 適切 □ 見直し余地がある 日 日前受当性 ☑ 適切 □ 見直し余地がある 日 日前 □ 記録 □ 記						
(3)	今後の事業の方向性 (5)改革・改善による期待成果						
(4)	□ 廃止 □ 休止 □ 事業の統廃合 □ 目的再設定 □ 事業のかり方改善(有効性改善) □ 事業のかり方改善(公平性改善) □ 事業のかり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない) □ 対本改善案の概要 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
(6)	坟革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策						
_							
	『務事業の2次評価結果 2次評価対象 ☑ 2次評価対象外 2次 評価者としての評価結果 (2)評価結果の根拠と理由						
(1)	日的妥当性 □ 適切 □ 見直し余地がある □ (2)計画編末の低機と建田 □ (2)計画編末の低機と						
	有効性 □ 適切 □ 見直し余地がある □						
	効率性						
(2)	公平性						
	□ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業の統廃合 □ 事業のやり方改善(有効性改善) ■ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない) □ 別域 維持 増加 □ □ 上 □ □ □ □ は 横持 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
(5)	その他、2次評価会議で指摘された事項						